

『BD ベリター™ システム Flu』

インフルエンザウイルスキット — 発熱後のインフルエンザウイルス検出性能について —

**質問：発熱直後はウイルス抗原が体内で十分量に達していないためインフルエンザウイルスキットが偽陰性を示すと言われていたのですが、BD ベリター™ システム Flu を用いた臨床データはありますか？**

イムノクロマト法において、発熱後 12 時間以内に初回判定が陰性で 12 時間以降の再検査で陽性に転じた偽陰性率の割合が 29%であったとの報告<sup>1)</sup>がありますが、BD ベリター™ システム Flu での同様の検討データはございません。

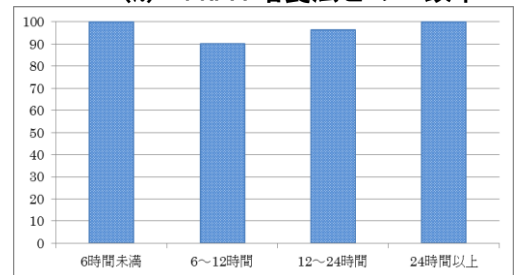
一方、ウイルス分離培養を基準としたイムノクロマト法の検出感度につきましては、発熱から 3 時間未満、3～6 時間、6～9 時間、9～12 時間について、インフルエンザウイルス A 型で 76.9%、76.1%、78.6%、85.7%、インフルエンザウイルス B 型で 61.6%、66.2%、64.2%、84.8%と 12 時間未満での検出感度は低く、発熱からの時間の経過とともに検出感度があがるとの報告<sup>2)</sup>があります。BD ベリター™ システム Flu を用いたウイルス分離培養を基準とした検出感度を検討した社内データを下記に報告いたします。

～BD ベリター™ システム Flu での検討～

「インフルエンザウイルス A 型」

発熱後	本品 陽性数	培養法 陽性数	一致率 (%)
0～6 時間	5	5	100
6～12 時間	9	10	90.0
12～24 時間	26	27	96.3
24 時間以上	10	10	100

(%) Flu A 培養法との一致率

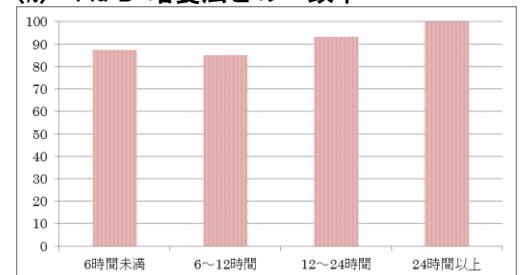


～BD ベリター™ システム Flu での検討～

「インフルエンザウイルス B 型」

発熱後	本品 陽性数	培養法 陽性数	一致率 (%)
0～6 時間	14	16	87.5
6～12 時間	17	20	85.0
12～24 時間	56	60	93.3
24 時間以上	39	39	100

(%) Flu B 培養法との一致率



以上のとおり、BD ベリター™ システム Flu の 12 時間未満のウイルス分離培養を基準とした検出感度は A 型においては 90%以上、B 型においては 85%以上ありました。本品による検査結果に関しては他の検査結果及び臨床症状を考慮して総合的に判断いただきますようお願いいたします。

参考文献

- 1) 羽田敦子ら：インフルエンザウイルス抗原迅速診断検査利用法-最適な検査時期についての 1 考案-。感染症誌 2004；78：846～52
- 2) Watanabe M, et al. : Sensitivity of rapid immunoassay for influenza A and B in the early phase of the disease. Pediatrics International 2009；51：211-5

製品情報 [www.bd.com/jp/poct/](http://www.bd.com/jp/poct/)

製品関連・資料請求のお問い合わせ

カスタマーサービス TEL:0120-8555-90

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社  
ダイアグノスティックシステム事業部  
POCグループ  
テクニカルサポート